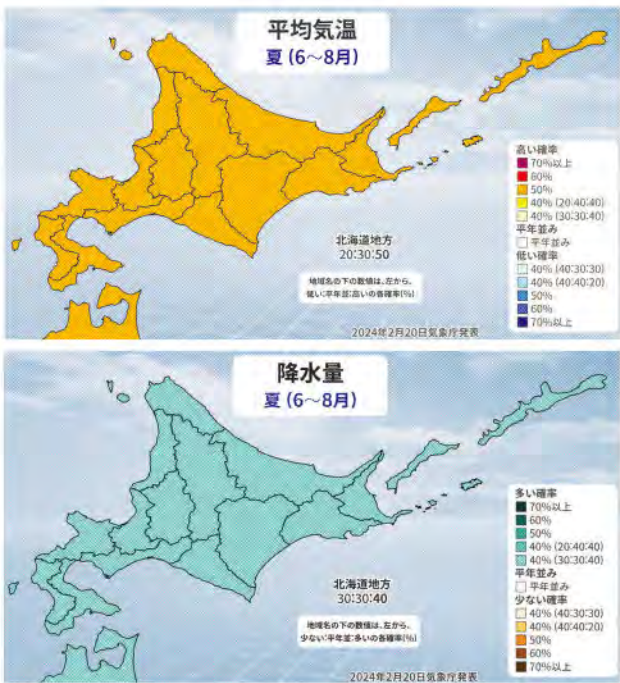
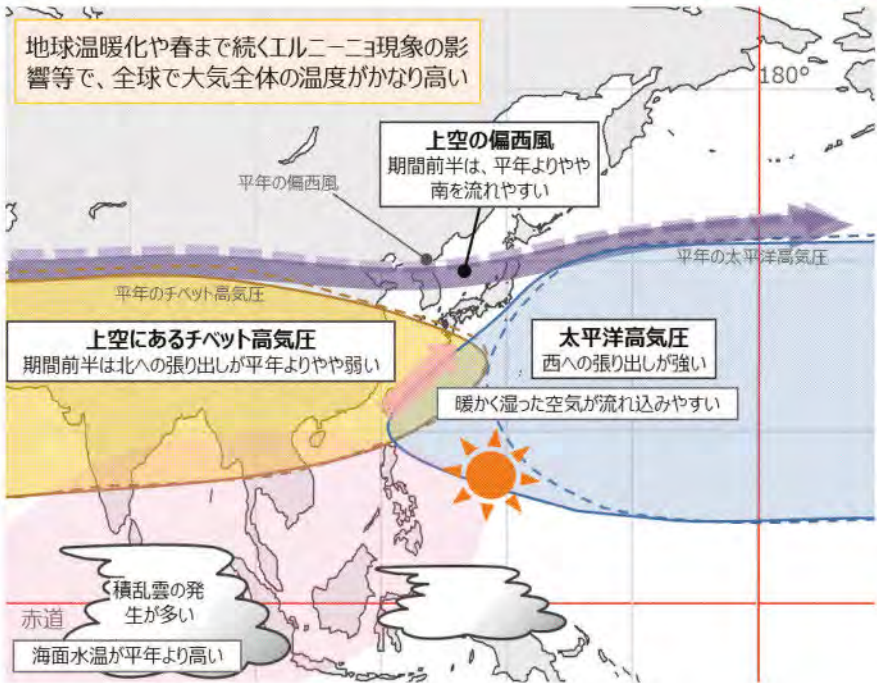


十勝農業の今を知り 未来を読み解く



(出典:気象庁 季節予報)



今夏も高温多湿の予測 エルニーニョ終息も海水温高く

「み」になる天気
ランナー予報士
寄稿

2023年は1年を通して全国的に記録的な高温となりました。月の平均気温は帯広を例にすると、1年のうち7カ月で観測史上最も高くなり、特に暑い7月と8月には熱中警戒アラートが運用開始以来初めて発表されました。この暑さが影響し、昨年十勝では、乳牛の体調不良や野菜の生育不良が多く発生しました。そこで24年の夏はどうなるのか？気象庁が2月20日に発表した季節予報を見ていきたいと思います。

今年の十勝の夏は平年よりも気温が高いという予想が出ています。「高い」となる確率が50%となっていますが、これは同じ予報を100回発表したとき、そのうち約50回は実際の気温が平年よりも高い階級になると予測していることを意味しています。そのため、今年の夏も去年のような猛暑続きの日々が続くかもしれません。

続いて、気温が上がる要因について解説していきます。今季の冬は、去年に発生したエルニーニョによって暖冬となりました。春まではエルニーニョが続くため、気温の高い状況が続くでしょう。一方、夏になるとエルニーニョは終息する見込みです。ただ、終息した後もインド洋付近の海面水温の高い状態は3カ月程度継続します。高い水温の海からは大量の水蒸気が発生するため、インド洋付近は積乱雲が次々と生じ、上昇気流は強まるでしょう。一方、日本付近は上昇し

た気流が降りる下降気流の場となるため、太平洋高気圧の圏内に入りやすくなります。そのため、太平洋高気圧の縁(へり)を回って海上の暖かく湿った空気が十勝には流れ込んでくるでしょう。

また、雨の量は平年よりも多いという予想が出ています。先ほど述べましたが、今夏は南から湿った空気が流れ込みやすいため、北の寒気とぶつかり北海道付近にも本州で見られる梅雨前線のような前線が発生し、雨の降る日が多くなるかと推測します。カラッと暑さで知られる北海道ですが、去年に引き続き今年も高温多湿の夏になるかもしれません。

【プロフィール】
(中屋裕貴(なかや・ひろたか))
1995年、神奈川県逗子市生まれ。株式会社ウェザーマップ所属。NHK帯広「ほっとニュースぐるっと道東」(平日午後6時40分〜)に出演中。一番の趣味はランニング。マラソンの自己ベストは北海道マラソンで記録した2時間40分。



ランナー予報士、こと気象予報士の中屋裕貴氏

勝毎電子版ジャーナルで
日々のお天気コラムを連載中



畑から食卓へ てん菜から広がる可能性



お砂糖はスズラン印

日本甜菜製糖株式会社

〒082-0005

北海道河西郡芽室町東芽室基線29番地 ビジネスセンター
TEL:0155-61-3100

<https://www.nitten.co.jp/>

